

時 報

第24卷第7號 昭和13年7月

日本學術振興會事業報告

日本學術振興會學術部は設立以來4ヶ年を経過し、各種の研究及調査に最善の努力を爲しつつある。今この内で、土木工学に關係あるものみに就いて下に記してみる。委員會の数は常置委員會が第1より第12まで、特別委員會が第1より第6まで、小委員會が第1より第19までであるが、土木工学及建築に關するものを第11常置委員會に於て、又第4特別委員會に於ては災害科學に關する研究を、第4小委員會にては電氣熔接に關する研究、第14小委員會に於ては耐震構造に關する研究を行つてゐる。

I. 第11常置委員會關係研究の一般 第11常置委員會關係事項である土木方面に於ける道路、鐵道、港灣、上下水道、發電水力、河川、運河、建築方面に於ける材料、構造、施工、都市計畫方面に於ける交通、衛生、保安、經濟等々各方面の専門家によつて研究を進めつつある。次にその土木に關するものを摘記して見る。()内は補助費。

1. 床版応力の研究 (1370 円) 稲田隆
2. 土圧力係數表の製作 (910 円) 安藏謙之輔
3. 地震動による土堰堤の各部の撓度並に内部応力の實驗的研究 (850 円) 松村孫治
4. セメント試験法に關する研究 (9000 円) 永井彰一郎, 濱田稔, 野坂孝忠
5. 部材の光弾性試験に必要な常數の實用的計算法 (400 円) 久野重一郎
6. 微粒子の沈降速度に關する研究 (480 円) 鶴見一之
7. 鉄筋コンクリート螺旋筋柱の實驗的研究 (640 円) 吉田彌七
8. 彈性橋脚を有する連続拱橋の研究 (1500 円) 三瀬幸三郎
9. 國産ベンチュリ式流量計の精度試験 (400 円) 北澤貞吉
10. 國産タールを原料とする道路舗装用乳劑の改良、其の組織並に性状に關する理論的及實驗的研究 (1280 円) 島田八郎
11. トランシットの又線修正に關する研究 (600 円) 新郷高一
12. 小銃彈によるセメントモルタル及コンクリートの

- 破壊に關する實驗的研究 (1000 円) 福田武雄
13. フェノライト材齡の光弾性消光係數に及ぼす影響に就ての研究 (400 円) 久野重一郎
14. 風速と波高並に波浪の傳播速度に關する調査及研究 (750 円) 中野稔
15. 建築物に關する風圧の研究 (3920 円) 谷口吉郎, 中野稔
16. 主要港灣に於ける津浪被害の防止又は軽減方法に關する研究 (1050 円) 松尾春雄
17. セメント混和劑に關する研究 (800 円) 近藤泰夫
18. 滲透水に因る土堰堤の安定に關する研究 (1050 円) 神原信一郎, 高田昭
19. 維新以前日本土木史綱纂出版 (2000 円) 青山士
20. 地形圖土地貌表示法研究の爲空中寫眞測量の實施 (883.5 円) 田中吉郎
21. 濾過の能率に關する研究 (1400 円) 廣瀬孝六郎
22. コンクリート及モルタルの養生溫度が強度に及ぼす影響 (1000 円) 野坂孝忠
23. 彈性横抵抗ある長柱に於て抵抗の一部除去が長柱の捩屈に及ぼす影響 (510 円) 稲田隆
24. 土の力學的性質の試験 (2000 円) 山口昇

II. 第4特別(災害科學)委員會 我國は世界中で天災地變の最も多い國であつて、全國各地が屢々颱風、津浪、高潮、地震、洪水等に襲はれてゐる。従つて本委員會に於ては災害に關する全國的及全體的の基本問題の研究を行つて根本的、相關的、綜合的に諸研究を進め、以つて我國に於ける各種の災害の防止軽減に資せんとするものである。本委員會は昭和10年10月27日に設立せられ、3分科會を作る。

- 第1分科會 風の構造の研究
第2分科會 實際構造物の風圧測定
第3分科會 波高と風速の研究

擔當委員中、土木關係の専門家は中野稔、松尾春雄、物部長照氏等である。

III. 第4小(電氣熔接)委員會 電氣熔接は理論の研究より応用が先に進んで了つた感がある。本委員會は關係各方面の權威者によつて熔接材料、熔接機器、設計並に施工法、検査方法及人体に及ぼす影響等を綜合的に研究調査せんとするものである。決定せる項目は次の如くである。

1. 薄板の電氣熔接に關する研究

2. 厚板の電気溶接に関する研究
3. 特殊鋼の電気溶接に関する研究
4. 鑄鉄の電気溶接に関する研究
5. 銅及其合金の電気溶接に関する研究
6. 軽合金の電気溶接に関する研究
7. 電極棒並に被覆剤に関する基礎的研究
8. 電気溶接部の衝撃並に反覆荷重に対する信頼度増大に関する研究
9. 電気溶接部に残留する内部応力に関する研究
10. 簡単にして且つ有效なる電気溶接部の缺點発見法の研究
11. 溶接々手の細部構造に関する研究
12. 溶接々手の応力傳達に関する研究
13. 溶接に適當なる試験法及試験片の研究
14. 溶接部の物理的性質に対する温度の影響に関する研究
15. 溶接機器に関する研究
16. 溶接電弧法と瓦斯發生の生物に及ぼす作用の研究
17. 溶接と腐蝕との關係に関する研究
18. 溶接熱の影響に関する基本的研究
19. 鑄鋼と鋼板との電気溶接に関する研究

土木關係の委員は田中豊、青木楠男、柴田晴彦氏等である。

IV. 第 14 小(耐震構造)委員會 耐震構造は大正 12 年の大震災以來多數の研究者によつて種々の方面より研究されつゝあるも未だ充分な工法の完成を見ない。而もこの問題は保安並に經濟上極めて重要であるから、綜合的に耐震構造に對して有效適切な研究を行はんとするものである。昭和 12 年度の研究事項は次の通りである。

1. 杭群の耐力に関する研究
2. 各地方に於ける地震動の性質及建物の振動
3. 不規則なる形狀の建築ラーメンに関する理論的研究
4. 構造物の振動實驗
5. 耐震壁に関する研究
6. 振動逸散性及構造的振動制振法の研究
7. 鉄骨構造部分の振動に関する實驗的研究
8. 木造耐震壁に関する研究
9. ラーメン模型の振動試験
10. 構造物の振動減衰に関する研究
11. 鉄骨ラーメンの耐震に関する基礎的研究
12. 「耐震構造要項」調査

土木關係委員は田中豊、松村孫治、物部長穂、山口昇氏等である。(編輯部)

畝傍聖地計畫の概要

來る昭和 15 年(紀元 2600 年)を迎へるに當り紀元 2600 年奉祝會の事業の一つとして豫て計畫中の檜原神宮鏡域及畝傍山東北陵々域の擴張並に參拜道路の築造に關しては、之を都市計畫事業に依つて施行すべく、昨年來關係各官廳と種々協議の結果此の程その成案を得たので正式の認可を濟まし目下縣當局は鋭意その實現に邁進中である。今其の概要を茲に述べんとす。

1. 計畫の概要 街路：畝傍町は檜原神宮鎮護の聖地にして街衢は往古の構築に係り一部稍見るべきものありと雖も街路の幅員は一般に狭少にして其の系統亦遺憾の點ありて近代交通の用に適せざるものあり、依て畝傍町を中心とする街路網の計畫は速に之が決定を爲すの要あり、然るに同町の都市計畫區域は隣接 2ヶ村に亘り、同區域内の全部に對し都市計畫街路の決定を爲すは尙相當の日子を要するものあり、偶々紀元 2600 年を控へ其の祝典記念事業たる檜原神宮々域を中心とする各種施設の計畫あり、依て同附近地は計畫に關聯して其の根本たるべき街路の決定を爲すの要あるを以て取敢へず檜原神宮及參道たる檜原神宮道及之と連繫する 7 路線、延長約 8 km の道路を都市計畫街路として決定、別途決定せる土地區劃整理の實施に備へると共に前記計畫に則し之が實現を期せんとするものなり。

區劃整理：之は今回の紀元 2600 年祝典記念事業たる檜原神宮鏡域、神武天皇陵域、綏靖天皇陵域擴張に關聯する用地 44.3 ha を土地區劃整理の施行により之を實現せしめると都市計畫街路事業の執行に便せしめ且神域に接する土地をして將來統制ある市街地として發展せしむる爲に都市計畫法による土地區劃整理を施行すべきことになり、茲に畝傍都市計畫檜原土地區劃整理の成立をみたのである。

軌道の移設：以上の各種の事業に關聯して大阪電氣軌道畝傍線及吉野線を現在線の東方約 300 m の地點にその位置を移設し、現在の大阪鐵道久米寺驛に於て合流せしめ兩社の合同驛を設くる事とせり。

2. 事業の概要 街路：路線數 ……………8

幅員 8~21 m
 總延長 8.02 km
 廣場面積 (9箇所) 35 350 m²
 事業費 576 195 円

以上の内最も重要な幹線たる II. 1. 1 號線(參拜道路)は都市計畫事業として別に奈良縣知事に於て執行するものなり。之に要する事業費 40 萬圓は全額紀元 2 600 年奉祝會より交付を受く。その他の街路は土地の區劃整理の施行により執行し II. 5. 3 號線(樞原 6 號線)たる府縣道の築造に關しては以上に附隨して府縣道新設の必要を生じたるため之に對して 2 萬圓の補助を受け實施するものなり。

區劃整理: 區域... 畝傍町大字四條, 大久保, 畝傍, 久米, 見瀬, 大輕, 石川, 和田出屋敷, 御坊の各一部。

設計方針... 街路は都市計畫として決定せるものに依るの外土地の狀況を精査して其の配置を定むるものとし其の幅員は特別の事情ある場合を除くの外總て 6 m 以上とす。

公園は土地の狀況を精査して適當に配置するものとす。

劃地は特別の事由ある場合の外住宅商店に適應する様決定するものとす。

整理地區總面積... 106.48 ha

内譯	神域並に陵域となるべき地積	約 44.80 ha
	水道路敷となるべき地積	" 13.80 "
	大軌の新設軌道敷となるべき地積	" 7.41 "
	民有地	" 40.97 "
		(減歩率 51.8%)

整理費... 1 400 000 円(全額奉祝會より補助)。

整理施行者... 都市計畫土地區劃整理の決定と共に奈良縣に於て都市計畫事業として執行す。

3. 事業費並に年度割表 事業費の全額を紀元 2600 年記念奉祝會より交付を受くるものにして本事業の執行年度割は次の如し。

種 別	年 度	面積又は延長	昭和 13 年度	昭和 14 年度	昭和 15 年度	計
(1) 樞原土地區劃整理施行費		106.48 (ha)	719 088	655 018	5 894	1 380 000
(2) II. 1. 1 號(參拜道路)築造費		2.60 (km)	259 108	140 892	—	400 000
(3) II. 3. 5 號(府縣道)築造費		0.71 "	20 000	—	—	20 000
計			998 196	795 910	5 894	1 800 000

(内務省都市計畫課)

笠岡港修築工事概要

岡山縣の西部, 廣島縣境近く位する笠岡港は後方地域に於ける産業の開發並に生産高の増加に依り入港船舶輻輳を極め其の修築は多年の懸案にして豫てより修築を要望しつゝあつた所昨年 11 月内務省の認可する所となり愈々總工費 350 000 円, 昭和 12 年度以降 7 ケ年継続事業を以て實施する事となつた。

圖-1. 笠岡港平面圖

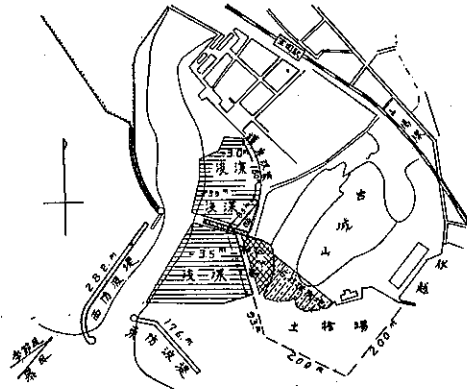


圖-2. 防波堤構造圖

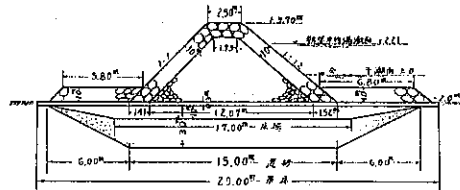


圖-3. 物揚場構造圖

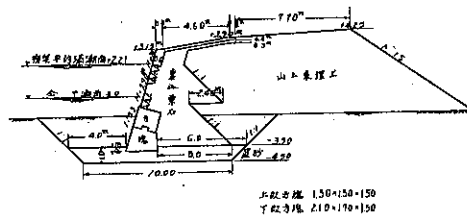


表-1.

種 別	数 量	単 位	単 價	金 額	摘 要
工 事 費				318 182.00	
防 波 堤 費	452.0	m	0.40	160 119.60	捨石堤
浚 深 費	94 123.0	m ³		37 649.20	
埋 立 費	20 039.0	〃			費用は別途計上
物 揚 場 費	235.0	m		66 237.89	
護 岸 費	180.0	〃		15 886.44	
雑 工 事 費				2 500.00	
測 量 調 査 費				1 700.00	
機 械 器 具 費				16 300.00	
雑 費				10 889.43	
補 償 費				6 899.44	漁業補償及石材採取地々山代
事 務 費				31 818.00	
合 計				350 000.00	

修築計畫の概要は舊西防波堤の先端より航路に平行に 276m の西防波堤（捨石堤）と航路を隔て、之に略直角に 176m の東防波堤（捨石堤）を築造し以て港内東部水面の動搖を 방지、東部護岸及物揚場の接岸荷役の安全を確保せんとす。港内には延長 235m の水深 3.5m の物揚場を造り其の前面は朔望干潮平均水位以下 3.5m に浚深せんとす。尙之等浚深土砂の一部は物揚場に接する 6 610m² の埋立地内に投棄し残餘は古城山南側の土捨場に放棄せんとす。

本港修築工事は目下岡山縣直營工事として西防波堤を施行中にして工費内譯は表-1 の如し。

（飯島馨之助）

全國都市問題會議第 6 回總會

全國都市問題會議第 6 回總會は下記要項により今秋 10 月京城府に於て開催する豫定である。本會議は全國各市、都市計畫委員會、區町村、右關係諸官廳、學會、協會、公共組合其の他の關係者並に都市經營に關係ある事業者、学者等參加の下に豫め提示せられざる議題に就いて研究討議を行ふものである。

總會開催要項

1. 開催期：昭和 13 年 10 月 10 日より 3 日間
2. 開催地：京城府
3. 議 題：第 1 議題 都市計畫の根本問題
第 2 議題 都市經費問題

4. 特別議題及特別報告：

上記兩議題の外に特別議題及特別報告あり

特別議題 事変と都市の厚生対策

特別報告 日滿支都市の連携

5. 議事方法：兩議題に關する主報告者の報告に次で參加會員の報告及討議を行ひ次で特別議題に關する主報告及討議並に特別報告を行ふ。

6. 實地視察：總會第 3 日を之に充つ

7. 總會費：參加者 1 人に付金 10 円とし、正會員は總會期日迄に、臨時會員は參加申込と同時に事務局へ納入のこと

8. 關係文書の頒布：參加申込者には、研究報告參考資料並に總會要録等を配布す

參加手續及研究報告提出方法

(1) 參加申込方法

(イ) 正會員の申込方法：正會員は豫め其の職氏名を通告し總會當日迄に總會費を納入せられたし。官公廳其の他諸団体が正會員たる場合は其の通常會費口數までの人員を參加せしむるの外、更に臨時會員を出席せしめ得ること會議規約第 5 條第 2 項所定の如し。

(ロ) 臨時會員の申込方法：正會員にあらざして今次の總會にのみ參加せんとする向は臨時會員とし、前掲總會員の拂込みと共に、その住所氏名を通告せられたし。

(ハ) 申込宛名先：東京市日比谷公園、

既 往 5 回 の 總 會 概 要

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
開催期	昭和 2 年 5 月 19 日-21 日	昭和 5 年 10 月 6 日-8 日	昭和 7 年 5 月 19 日-21 日	昭和 9 年 10 月 18 日-21 日	昭和 11 年 10 月 14 日-16 日
開催地	大 阪 市	東 京 市	名 古 屋 市	東 京 市	京 都 市
参加者数	413 名	767 名	689 名	567 名	526 名
議 題	第 1 議題 防火と建築	第 1 議題 都市の郊外地統制	第 1 議題 市町村民の負擔並 市町村の税制問題	第 1 議題 都市の環境と其の 改善問題	第 1 議題 都市の公益企業
	第 2 議題 不良住宅改善	第 2 議題 街路交通の統制	第 2 議題 都市に於ける汚物 処理並汚染防止問 題	第 2 議題 都市自治の現状と 其の濟美問題	第 2 議題 都市の保健施設
	第 3 議題 土地區劃整理	第 3 議題 受益者負擔金			
	第 4 議題 自由空地並公園				
實地視察	第 1 班 神戸方面 第 2 班 京都方面 第 3 班 大阪方面	東京視察班 横濱視察班	4 班 編成 市内外公私各施設 を視察	陸軍技術本部他に 11ヶ所隨意視察	4 班 編成 市内外公私各施設を 視察 京都御所及離宮拜觀

東京市政調査會内 全國都市問題會議事務局
(振替貯金口座 東京 60824 番)

(2) 研究報告提出方法

- (イ) 第 1 議題及第 2 議題に就て總會に研究報告を發表せんとする正會員及臨時會員は昭和 13 年 7 月末日までに事務局へ提出せられたし。
- (ロ) 研究報告は、その内容が議題の全般に互ると一部に止まるとを問はず、本文に於ては總字数 1 萬 5 千字を超えざるものたるを要し、又添附図表寫眞等に就ては、(1) その儘にて凸版又は寫眞版にとり得らるゝ図稿たること、(2) 點數は制限せざれども必要不可欠のものに限り、多色刷のものは避けられたし。
- (ハ) 會員より提出の研究報告は合輯印刷の上參會者に配布するものなるが、右は單に總會關係文書たるに止まらず、汎く都市問題研究上の參考に供する前例なるを以て參加申込者は奮つて提出あらんことを特に希望す。

(編輯部)

第 6 次全國土地區劃整理大會

去る 5 月 23、24 日の兩日に互り第 6 次全國土地區

劃整理事業者大會が明治神宮外苑にある日本青年會館に於て開催せられた、今回は帝都に於いて行はれたる爲特に參會者多く千餘名に及び非常に盛會であつた。

今や我が國に於ける土地區畫整理事業も内地は云ふに及ばず遠く植民地迄普及せられ、事實都市計畫上最も重要な地位を占むるに至れり。殊に今次事變の結果更に重要視せられ、例へば空襲の危険下にあつて防衛施設の強化上又は都市の統制ある發展に備へんが爲等種々區劃整理に俟つもの多きに至れり。故に今回の大會に於ける協議事項、其の他の問題に關しても事変色が多分に見受けられた。

議事 第 1 日： 區劃整理事業に關する各種の問題に就て決議並に協議研究。

第 2 日： 新宿御苑拜觀及東京市實地視察。

決議事項 (1) 内務省計畫局内に區劃整理課を新設し時局に對應する都市計畫の實現に善處せられん事を望む。

(2) 時局に鑑み土地區劃整理事業を一層速進せしむる爲、資金の調達に對し特別の考慮を致されんことを望む。

(3) 公園用地、防空用地保留に對する特別の助成あらんことを望む。

協議研究事項 之は各府縣提出のもの總計 16 件で

あるが何れも皆區劃整理施行上各種の法律の改正を要望するものが多い様であつたが之はこゝに略す。

(秋月弘一)

道路研究会記事

東京関西名古屋道路研究会聯合會

東西道路研究会聯合大會はその第1回を一昨年5月大阪に、第2回を昨年5月中京名古屋に開催したが本年は昨秋設立を見たる名古屋道路交通研究会の参加を得て3研究会聯合大會として去る4月2日、3日の兩日に互り盛大に舉行された。

4月2日(土)東京側會員は午前8時丸ビル地階花月食堂に集合8時半大阪、名古屋側會員の到着を待ち約1時間の休憩あつて、一行60餘名3臺のバス、數臺のハイヤーに分乗この日の日程第一たる道路視察に出發する。楠公銅像前を経て宮城に至り一同宮城前に整列襟を正して遙拜、直ちに車を連ねて日比谷公園横から芝増上寺山門前、專賣局三田工場前、品川八ツ山を経て一路京濱國道をドライブ立會川より右折して内務省京濱國道建設事務所に到着、主任岩澤技師の説明にて工事状況を見学、続いて洗足池横、駒場帝大航空研究所、和田堀浄水場、代田橋から井ノ頭街道(近衛首相命名)をひた走りに井ノ頭公園に到る。それより車は再び青梅街道を都心へと走り荻窪驛手前にて左折して舊千川上水側に出て目白学習院側より環狀線明治道に出で國道第2號中仙道を左折して内務省御自慢の新國道を走り本蓮沼より府道第57號に入り内務省土木試験所岩淵分所に到る。松尾、西川兩技師等の詳細なる説明にて所内を見学一先づ中食、午後は埼玉縣戸田村のオリンピックポルトコース工事場を金森、五十嵐兩技師等の説明により見学、歸途環狀線を経て本日の座談會々場たる深川清澄園に到る。

座談會は東京市土木局長衣斐清香氏司會の下に行はれ、名古屋市土木部長花井又太郎氏、神戸市土木課長富田惠四郎氏、内務技師金森誠之氏、東京市土木局長今井哲氏、同道路建設課長堀信一氏、日本鋪道會社々長淺利三朗氏等の間に感想、希望、質問等の開陳あり午後6時盛會裡に座談會を打切り、続いて築地萬安樓にて懇親會開催、内務省土木試験所長藤井眞透氏の歓迎の辭、花井氏の答辭、衣斐氏の謝辭の後宴に入る。散會午後10時。

翌4月3日(日曜日)午前10時内務省土木試験

所に參集西川、山田兩技師等の案内にて所内を見学且所内に開催されたる道路展觀會を參觀して午前中を過し、正午見学を終つてこの日の午餐會場たる丸ビル精養軒に臨む。席上渡邊幹事主催者側を代表して謝辭を述べ、西川、富田、金森氏等數氏より本會對する種々の提案あり、2日に互る意義深き大會を茲に終了す。

第116回例會

東京道路研究会4月例會は下記の如く開催熱心なる會員30數名の參會を得て午後9時半有意義に會を閉ぢる。

日時：4月12日(第2火曜)午後6時半

場所：丸ノ内帝國鐵道協會

講演及映畫：

1. 千葉縣松戸コンクリート試験舗裝に就て
會員 千葉縣技師 折坂理五郎氏
2. 同實況映畫
日本ポルトランドセメント同業會
木間雅治氏
3. 金澤コンクリート試験舗裝に就て
千葉縣技師 鈴木邦彦氏
4. 同實況映畫
日本ポルトランドセメント同業會
木間雅治氏

第117回例會

日時：5月10日(第2火曜)午後6時半

場所：丸ノ内帝國鐵道協會

講演：在米10ヶ月に見聞せる米國の舗裝に就て

日本鋪道株式會社 龜井川振興氏

劈頭渡邊幹事より會員山本亨、森豐吉、久野重一郎3氏の來る6月下旬より開催される第8回國際道路會議に出席のため和蘭ヘーグ市へ向け出發されたる旨報告あり。続いて同幹事司會の下に上記講演を聴取し質疑応答を重ね午後9時散會。本日の參會者20數名。

(南保 賀)

都市計畫關係決定事項(3月中)

1. 市街地建築物法適用 大阪府山田村(施行規則第149條の2の規定)。
2. 都市計畫法適用 廣島縣東城町、岡山縣久世町、同伊都町、同高梁町。
3. 都市計畫區域 東城(廣島縣東城町の區域)久世(岡山縣久世町の區域)、山田(大阪府山田村の區域)。

図-4. 富士都市計畫街路

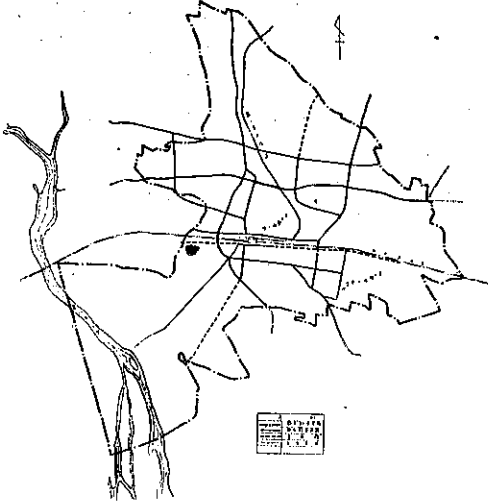
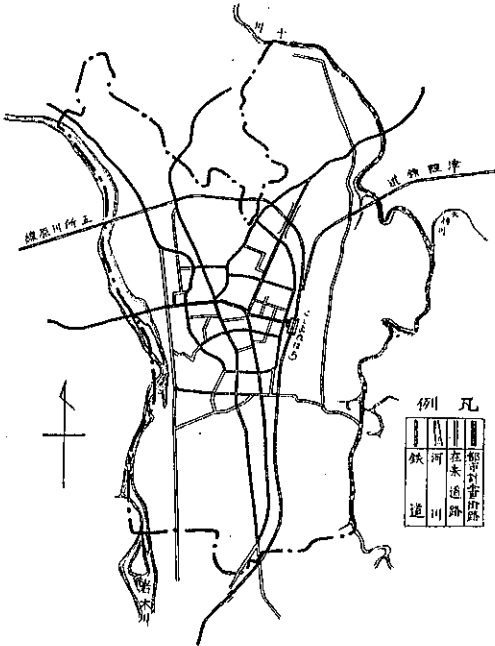


図-5. 五所川原都市計畫街路



4. 計畫の決定 街路： 入戸都市計畫追加街路(16線, 延長 32.10 km, 工費概算 1 720 000 円), 大湊都市計畫街路(10線, 延長 14.36 km, 工費概算 509 400 円), 富士都市計畫街路(19線, 延長 22.60 km, 工費概算 2 000 000 円)(図-4), 徳山都市計畫街路(8線, 延長 11.31 km, 工費概算 2 351 860 円), 武生都市計畫街路(3線, 延長 3.65 km, 工費概算 923 420 円),

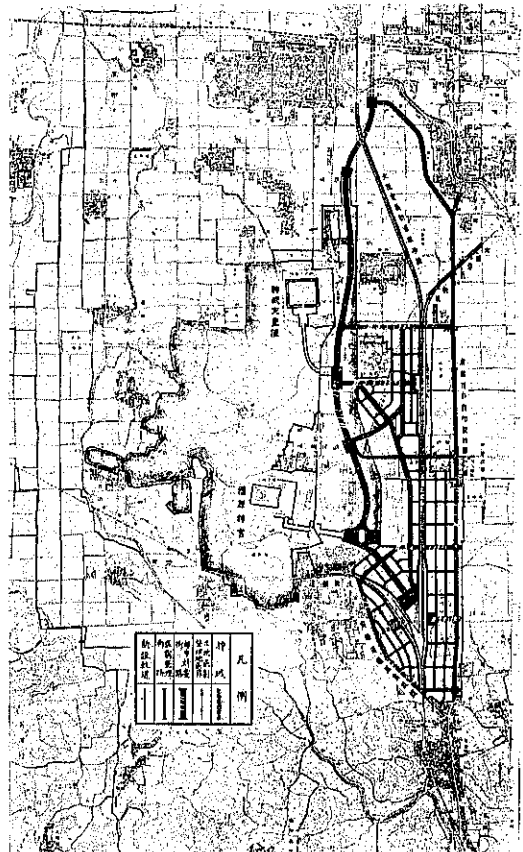
大野都市計畫街路(6線, 延長 5.99 km, 工費概算 980 789 円), 五所川原都市計畫街路(12線, 延長 13.86 km, 665 000 円)(図-5), 船橋都市計畫街路(1線, 延長 0.78 km, 工費概算 73 296 円), 畝傍都市計畫街路(8線, 延長 8.02 km, 廣場 85 345 m², 工費概算 576 195 円)(別項參照), 秋田都市計畫街路(11線, 延長 22.79 km, 工費概算 3 735 041 円)。

防火用水利施設： 川崎都市計畫防火用水利施設(貯水槽 8 個, 工費概算 58 000 円)

土地區劃整理： 桐生都市計畫 桐生驛裏土地區劃整理(面積 355.35 ha), 三重縣津都市計畫土地區劃整理(面積 7.93 ha), 同本本都市計畫土地區劃整理(面積 355.35 ha), 同朝日都市計畫土地區劃整理(面積 114.43 ha), 畝傍都市計畫土地區劃整理(面積 106.45 ha)。

風致地區： 岩國都市計畫風致區(錦帶橋 341.07ha), 下關都市計畫風致地區(壇の浦 53.83 ha, 紅葉山 11.81 ha, 日和山 16.57 ha, 小門 37.93 ha, 武久海岸 13 70

図-6. 畝傍都市計畫圖



ha, 長府外浦海岸 25.95 ha, 綾羅木海岸 125.31 ha, 計 285.10 ha), 福井都市計畫風致地區(福井城趾18.17 ha, 足羽山 88.11 ha, 足羽川 78.95 ha, 計 185.23 ha)。

5. 事業の決定 街路: 川崎都市計畫街路事業 (I. 3. 5 號線, 延長 0.93 km, 事業費 578 000 円, 昭和 12~13 年度, 市長執行), 桐生都市計畫街路事業 (II. 3, 17 號及 I. 小 22 號線, 延長 0.99 km, 事業費 142 833 円, 昭和 13~15 年度, 市長執行), 畝傍都市計畫街路事業 (II. I. 1 號及 II. 3, 5 號線, 延長 3.31 km, 事業費 420 000 円, 昭和 13~14 年度, 奈良縣知事)。

6. 土地區劃整理組合の設立 大阪市湯里(面積45.25 ha, 整理費 220 000 円) 東京市龜有長門町(面積4.53 ha, 整理費 12 985 円) 京都市北第 2 地區(面積 14.96 ha, 整理費 146 869 円, 都市計畫事業の設計認可), 堺市三賢東部(面積 5.36 ha, 整理費 110 000 円), 尼崎市橋第 2(面積 35.95 ha, 整理費 528 689 円), 助川町會瀬(面積 7.14 ha, 整理費 3 600 円), 多治見町東郊(面積 30.52 ha, 整理費 20 000 円)。

(編輯部)